

晴れた日には出かけよう！
～まちのミリョクを再発見!!～

13

みたけさん
御嶽山のオオカミと

ヤマトタケルノミコト



武蔵御嶽神社のお札に描かれるおいぬ狗さまに隠された伝説。

御岳神社でいただけるお狗さまが描かれたお札をご存知でしょうか。このお札には大きく口が裂けたオオカミの様な姿が描かれています。実はこのお狗さま、御岳山に伝わるある伝説の動物が由来しています。

伝説では、その昔、日本武尊やまとたけるのみことが東国平定の際に御嶽山にさしかかった時、白いシカに化けた犬の魔物に行く手を阻まれました。しかし日本武尊は、近くに生えていた山二郎で魔物の顔を打ちつけ退散させました。するとあたり一面に大きな地響きがおこり、霧がわきたち一寸先も見えなくなってしまいました。一行は右往左往して大混乱に陥ります。そこへどこからともなく1匹の白いオオカミが現れ、前に伏して「私について来てください」と言いました。一行は、白いオオカミの案内で無事に難を逃れます。戦いを終えた日本武尊は、白いオオカミに使いを出し、「いつまでも我が陣や民家の守り神になってほしい」と申し伝えました。するとオオカミは快く申し出を承知し、末永く人間やその他いろいろなものを守るようになったのだそうです。

この御嶽山のオオカミ伝説に現れた白いオオカミこそが御嶽神社のお札のお狗さまで、お札の絵のモチーフとなりました。現在、お札には「大口真神」の文字と、口が耳元まで裂けたお狗さまが描かれています。このお札は関東一円に広まっていて、災難・厄除け・火災・盗難除けとして玄関先などに貼られることが多いようです。日の出町でも、農家のお守りとして軒先や蔵の入口に貼られているのをよく見かけます。



顎掛岩とその周辺の紅葉

また、町の最高峰日の出山にも日本武尊にまつわる伝説が残されています。つるつる温泉の手前三ツ沢三澤薬師堂の四叉路をまっすぐ進み、舗装路を15分ほど行ったところに不動堂があります。そこから古くは御岳山の表参道であった日の出山ハイキングコースの旧道を30分ほど歩いた山の中腹にある顎掛岩あごかりいわで、日本武尊が蝦夷征伐の帰りに、あごを掛け、はるか遠く関東平野を見わたしたと伝えられています。

日の出山周辺では、例年11月の下旬に紅葉の見頃を迎えます。この秋は、神話の時代のロマンを感じながら、日の出山へ紅葉狩りに出かけてはいかがでしょうか。帰りにはつるつる温泉に立寄り、体の疲れを流しましょう。日の出山ハイキングで心も体もリフレッシュ！

..... アクセス

日の出山へはケーブルカー「御岳山」駅下車、徒歩60分です。



顎掛岩へは日の出山山頂から徒歩30分です。
つるつる温泉へは顎掛岩から徒歩40分です。



土蔵の入り口に貼られた御嶽神社の護符

日の出WALK (観光マップ) [0-3]

